

関係機関・団体長  
病害虫防除員  
農薬管理指導士 } 様

山口県病害虫防除所長

ミナミアオカメムシ（斑点米の原因となるカメムシ）の発生と防除対策について  
（技術資料第 1 0 号）

ミナミアオカメムシは近年、発生が増加している斑点米カメムシであり、他の斑点米カメムシに比べ注意が必要なため、技術資料を送付します。

## 記

### 1 発生状況

- ( 1 ) 9 月 1 0 日 ~ 1 2 日の巡回調査における 2 0 回すくい取り調査では、ミナミアオカメムシの発生ほ場率は 1 4 . 3 %、虫数 0 . 2 6 頭で瀬戸内海沿岸地域を中心に発生が確認された（図）。なお、昨年までは巡回調査ほ場での発生は確認されていない。
- ( 2 ) 県内 6 か所の予察灯でもミナミアオカメムシが認められており、7 月 1 日 ~ 9 月 9 日の誘殺数は 5 8 頭であった。
- ( 3 ) 8 月下旬から 9 月中旬にかけて、防府市台道及び山口市大内の水稻ほ場で増殖し多発生しているほ場が確認された。

### 2 今後の予想

- ( 1 ) 対象地域  
県内全域（特に瀬戸内海沿岸地域のヒノヒカリ等の中生品種栽培ほ場）
- ( 2 ) 被害の予想  
主にヒノヒカリ等の中生品種で斑点米の発生する可能性がある。  
（ミナミアオカメムシは斑点米を発生させる能力が高いだけではなく、出穂後長期間にわたり被害を与える。）

### 3 防除対策

- ( 1 ) ほ場で発生を確認した場合、直ちに防除を実施する。
- ( 2 ) 収穫後、「ひこばえ」の稲穂で増殖し越冬個体が増えるので、早めにすき込む。特に 9 月上旬までに収穫したほ場は「ひこばえ」の出穂前にすき込む。

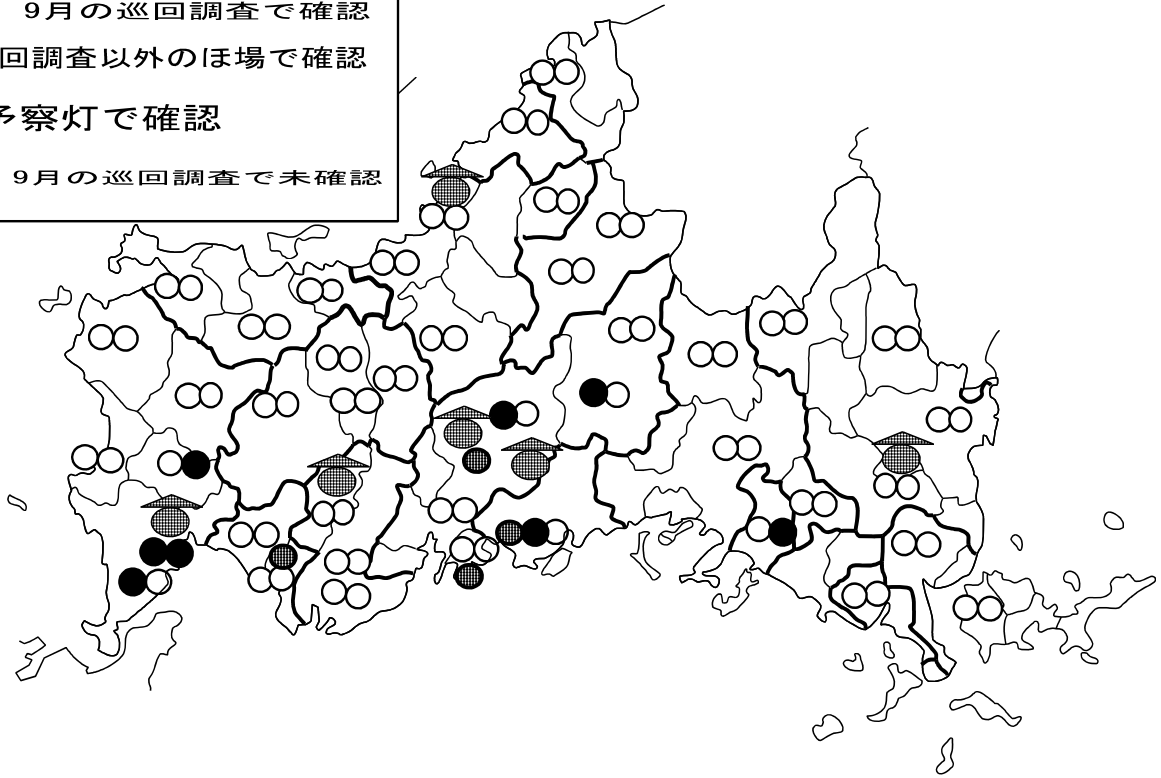
### 4 防除上注意すべき事項

- ( 1 ) ミナミアオカメムシに対して、ネオニコチノイド系薬剤（スタークル剤、ダントツ剤等）、有機リン剤（スミチオン剤、バイジット剤等）は有効であるが、合成ピレスロイド剤（MR・ジョーカー剤、トレボン剤）は防除効果が低い。
- ( 2 ) 粒剤はミナミアオカメムシ等大型種のカメムシに対して防除効果が劣るので、粒剤で防除を行ったほ場でも発生の確認が必要である。
- ( 3 ) 薬剤防除にあたっては、使用時期（収穫前日数）等の農薬使用基準を遵守する。

### 5 その他

- ( 1 ) 現在、ダイズほ場ではミナミアオカメムシの多発生は確認されていないが、莢内子実の吸汁被害を受ける可能性があるので引き続き防除を徹底する（平成 2 0 年 8 月 1 9 日付け技術資料第 8 号参照）。
- ( 2 ) ミナミアオカメムシの発生生態、主な見分け方等については、平成 1 9 年 1 1 月 1 3 日付け技術資料第 7 号の参考資料（別紙）を参照のこと。

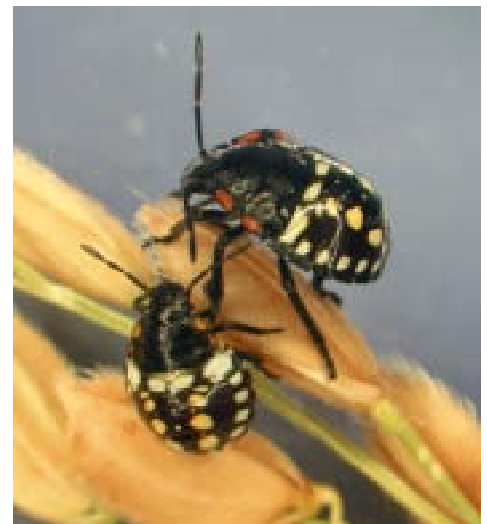
- 8、9月の巡回調査で確認
- 巡回調査以外のほ場で確認
- ☒ 予察灯で確認
- 8、9月の巡回調査で未確認



(図) 県内におけるミナミアオカメムシの発生状況



(写真1)  
集団で穂を加害するミナミアオカメムシ幼虫



(写真2)  
ミナミアオカメムシ3齢幼虫

## (別紙)

### 平成19年11月13日付け技術資料第7号の参考資料

#### (参考資料)

#### ミナミアオカメムシについて

##### 1 発生生態等(写真1、2)

- (1) 外観はアオクサカメムシに酷似し全体が緑色である。
- (2) 広食性の種で多くの農作物を吸汁加害するが、特に水稻やダイズの寄生・加害による被害が懸念される。
- (3) 水稻では穂を吸汁し斑点米の原因となる。成虫・幼虫が開花直後から収穫時までの登熟期間を通じて加害する。斑点米を発生させる能力は他の斑点米カメムシに比べ高く、九州や四国南部では斑点米カメムシ類の主要種として認識されている。
- (4) ダイズでは莢内の子実を吸汁するため、莢は落ちるか肥大せず緑色のまま収穫期まで残ることがある。
- (5) 九州では、4月から活動を始め、ジャガイモ、イタリアンライグラス、麦、大豆などの作物や休閑田、畑地などのイネ科、夕デ科雑草に飛来し繁殖する。
- (6) 九州では、年3～4世代を経て成虫で越冬する。
- (7) 越冬場所は比較的乾燥した場所を好み枯れたイネ科植物で覆われた地表面や積み藁の中、常緑樹の植え込みや生け垣、茂みなど様々な場所で確認されている。
- (8) 最寒月の平均気温が5 以下の地域では越冬できないとされている。

##### 2 ミナミアオカメムシとアオクサカメムシの主な見分け方 別添を参照

##### 3 防除対策

従来水稻の斑点米カメムシ及びダイズの吸実性カメムシ類の防除対策に準ずる。



(写真1) ミナミアオカメムシ成虫



(写真2) ミナミアオカメムシ5齢幼虫

(別添)

## ミナミアオカメムシとアオクサカメムシの主な見分け方

**ミナミアオカメムシ**

**アオクサカメムシ**

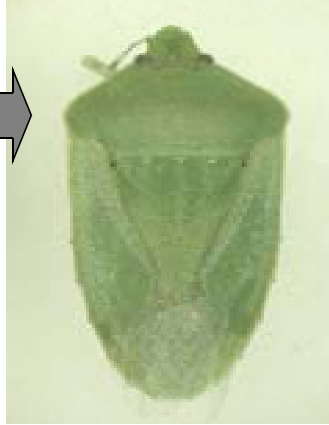
全体の体型

アオクサカメムシ  
よりやや細長い

ミナミアオカメ  
ムシより幅広

前胸背側角

なだらか

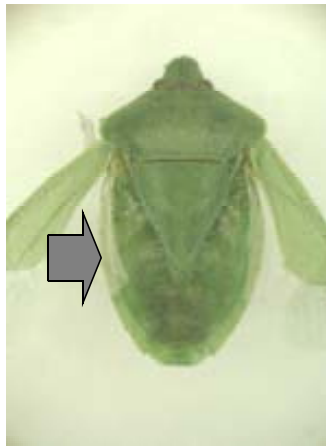


出っ張る

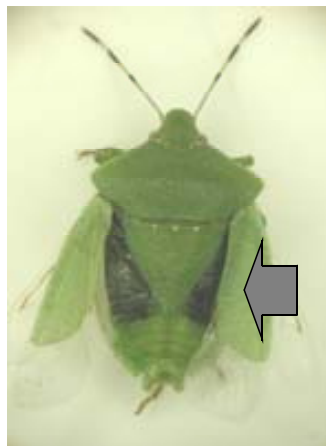


腹部背面

緑色

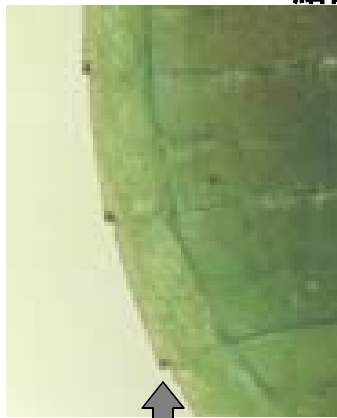


黒～黒褐色  
(まれに緑色  
の個体有り)



結合板

結合板外縁後  
端部のみ黒色



結合板外縁後  
端部及び結合板後  
縁中央に黒点

